



報道機関各位

平成28年4月19日

健康福祉部健康増進課 担当者 前川、野路、上藤 電話番号 0776-20-0350、0351 県庁内線番号 2623、2625
--

腸管出血性大腸菌感染症の発生について（平成28年 第2報）

1 概要

平成28年4月18日午後2時頃、二州健康福祉センター管内の医療機関から二州健康福祉センターに対し、患者から腸管出血性大腸菌O157およびベロ毒素を検出した旨、届出があった。このため、二州健康福祉センターは、患者の健康状態、行動等についての調査を実施した。

2 患者等の状況

- ① 患者 二州健康福祉センター管内在住の10代 男性 1名
 主な症状：腹痛、水様性下痢、発熱
 現在の状態：症状は回復している。

発症日	初診日	入院	退院	便検査	
				便検査開始	ベロ毒素確認
4/11	4/14	—	—	4/14	4/18

- ② 接触者の健康状況
 4名症状なし。（4名に対し、検便を実施し、衛生環境研究センターで検査予定。）

3 発生に伴う対応

二州健康福祉センターにおいて、次の措置を実施した。

- ① 本人の健康状態、行動および喫食状況を調査
 ② 衛生教育の実施
 ③ 自宅等の消毒の指示 ※食中毒については、その可能性も含め医薬食品・衛生課(0776-20-0354)で調査中です。

4 腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

		平成26年	平成27年 (全国は暫定数)	平成28年 (全国は4月3日現在)	備考
全国	届出数 (人)	4,151	3,567	152	昨年同期： 228人
福井県	発生件数 (件)	22	17	2	昨年同期： 2件
	届出数 (人)	38	25	2	昨年同期： 3人
	有症者 (人)	26	16	2	昨年同期： 3人
	無症者 (人)	12	9	0	昨年同期： 0人
	初発 (月日)	3/18	3/19	3/25	
最終 (月日)	11/7	11/10			

※ 腸管出血性大腸菌感染症の発生がありましたので、以下のことを徹底してください。

感染を予防するには、各家庭において次の事項に留意することが大切です。また、腹痛や下痢、血便等の症状がある場合には調理等を行うことを控え、早めに医療機関を受診しましょう。

- ① 少量の菌で感染が成立することから、手洗いが最も重要です。特に調理や食事の前、用便後や便の始末をした際には十分に手を洗いましょう。
 ② 調理器具は食品ごとにこまめに流水で洗い、熱湯をかけておきましょう。
 ③ 生野菜は流水でよく洗い、肉類や加熱する食品は十分に加熱（中心部を75℃で1分以上）しましょう。
 ④ 生食用の牛レバーは提供・販売されていません。牛レバーは、必ず中心部まで十分に加熱（中心部を75℃で1分以上）して食べましょう。
 ⑤ 焼肉をする場合は、生肉専用の箸を用いるなど、箸の使い分けをしましょう。